

## 【願書提出における確認事項】

### (1) 【家族の状況】 記入について

- \* 家族欄には同居する家族、および生計を一にする家族のすべてを記入してください。
- \* 家族の収入については、生計を一にする家族の収入を記入してください。
- \* 「収入」欄には「所得」ではなく、「収入金額」を記入してください。

#### 【収入確認の例】

収入の種類	確認書類	該当箇所
給与収入のみの例	源泉徴収票	「支払金額」
年金収入のみの例	年金額決定通知書等	支給金額等（年額）
事業収入、複数収入の例	確定申告書（第一表）	「収入金額」欄の合計

\* 転職等により複数箇所からの収入がある場合は、すべての収入を合算して記入してください。

### (2) 【世帯の生活の状況】 記入について

- \* 学費・生活費支出の実態がわからない場合は、審査することができません。
- \* (1) で記載をした収入以外で学費生活費を賄っている場合は、必ずその内容を記入してください。

### (3) 【収入補足事項】 について

- \* 以下の場合は必ず記載をしてください。
  - ・ 前年年収から大きな変化があった場合（収入変化の要因、本年收入の見込、解消予定時期）
  - ・ 休職（退職）、休業となった期間がある場合（その理由と開始時期および復帰時期）
  - ・ 傷病等で就業できない場合（状況および開始時期、解消予定時期、手当・年金の申請状況）
  - ・ 手当の支給要件に該当しながらも該当する手当を受給していない場合（その理由）

### (4) 添付提出書類について

生計を一にする家族全員（本人及び学生は除く）の収入証明書類の写しを提出してください。

#### 【収入証明書類】

総収入の種類	提出書類	
給与収入のみ	確定申告をしていない場合	源泉徴収票（複数枚ある場合はそのすべて）
	確定申告を行った場合	確定申告書（第一表・第二表）
年金収入のみ	確定申告をしていない場合	年金額決定通知書等（直近のもの）
	確定申告を行った場合	確定申告書（第一表・第二表）
事業収入等および複数収入	確定申告書（第一表・第二表）、 および、収支内訳書または青色申告決算書	

#### 【手当等証明書類】

手当等の種類	提出書類	
生活保護手当	生活保護決定通知書	直近の1年分
児童扶養手当	児童扶養手当証明書等	直近分、年額
その他手当等がある場合	手当等の金額（年額）がわかる書類	直近分、年額

※記入方法、提出書類についてご不明点がある場合は、募集要項に記載された問い合わせ先へ照会してください。



【記入例①：年金や手当の給付を受けている場合】

家族構成

母（会社員）、姉（大学生）、本人（私立中学生）

住居は母の所有（2年前に亡くなった父より相続）

《前年の収入》

母：給与 300 万円、遺族年金 250 万円、児童手当 12 万円、児童扶養手当 68 万円

姉：アルバイト収入 20 万円

本人：収入なし

《前年の支出状況》

生活費 420 万円（月 35 万円×12 ヶ月）、姉の学費 150 万円、本人の学費 80 万円

記入例①

(1) 【家族の状況】 年収は、生計同一者について、前年分のすべての「収入」を記入してください。

家族構成・収入 (申請者除く)	続柄	氏名	年齢	勤務先・在籍学校学年等	給与・事業・年金※1収入	生計
	母				550万円	同・別
	姉				20万円	同・別
					万円	同・別
					万円	同・別
					万円	同・別
				歳		万円
生計同一者の合計収入					万円	
その他収入	養育費	有・ <input type="checkbox"/> 無		万円/年額		
	児童扶養手当、児童手当	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		80万円/年額		
	生活保護手当	有・ <input type="checkbox"/> 無		万円/年額		

年金収入（老齢・遺族・障害年金の他、企業年金、退職年金、労災年金等）の金額は収入欄に加算します。年金収入がある場合は年金額決定通知などを提出してください。

※1年金収入には、老齢・遺族・障害年金の他、企業年金、退職年金、労災年金等を合算の上記入してください。

住居の状況 (いずれかにマル)       保護者・親族の所有       賃貸       その他 (      )

(2) 【世帯の生活の状況】 (該当にマル、金額については年額を記入)

学費・生活費支出の源泉	<input checked="" type="checkbox"/> 上記収入で賄っている <input type="checkbox"/> 上記収入に加え補填あり (預金取崩・借入等)
学費・生活費補填ある場合 その金額 (万円/年額)	<p>&lt;学費・生活費を預金取崩や借入金、援助 (仕送り) 等で賄っている場合は、その金額を記入&gt;</p> <p>該当項目に</p> <p>チェックの上、金額と内容記載 →</p> <p><input type="checkbox"/> 借入      万円      【内容:      】</p> <p><input type="checkbox"/> 預金取崩      万円</p> <p><input type="checkbox"/> 親族・知人等からの援助      万円      【支援者続柄:      】</p> <p><input type="checkbox"/> 一時的な収入※2      万円      【内容:      】</p> <p><input type="checkbox"/> その他      万円      【内容:      】</p>

※2.一時的な収入とは、失業手当、傷病手当、退職一時金、相続・贈与金等を記入してください。

(3) 【収入状況補足事項】

①収入の状況、各種申請の状況等：  
今年4月から姉が児童扶養手当の対象外となり、児童扶養手当が68万円から55万円へ減額となる。

②その状況が開始した時期および解消予定時期：  
2021年6月に父が亡くなり、同年8月より、児童扶養手当と遺族年金の給付を受けている。

③手当・年金等の申請状況：  
遺族年金と児童扶養手当を申請済。

④手当年金等が支給されない場合の理由：

【記入例②：前年と今年とで家族構成や収入が大きく異なる場合】

家族構成

亡父（元会社員。昨年8月に亡くなる）、母（会社員）、姉（大学生）、本人（私立中学生）  
住居は母の所有（亡父より相続）

《前年の収入》

亡父：給与 300 万円

母：給与 200 万円、亡夫（本人から見て父）の退職一時金 500 万円、亡夫からの相続財産 1500 万円。  
遺族年金 100 万円（10 月より）、児童手当 12 万円、児童扶養手当 14 万円（10 月より）

姉：アルバイト収入 20 万円

本人：収入なし

《今年の収入状況・見込み》

母：給与 300 万円、遺族年金 250 万円（1 月～12 月）、児童扶養手当 55 万円（1 月～12 月）

姉：アルバイト収入 20 万円

本人：収入なし

《今年の支出状況・見込み》

生活費 420 万円（月 35 万円×12 ヶ月）、姉の学費 150 万円、本人の学費 80 万円

収入との差額▲25 万円は預貯金から補填

(1) 【家族の状況】 年収は、生計同一者について、前年分のすべての「収入」を記

家族構成・収入 (申請者除く)	続柄	氏名	年齢	勤務先・在籍学校学年等	給与・事業・年金※1収入	生計
	亡父	年金収入(老齢・遺族・障害年金の他、企業年金、退職年金、労災年金等)の金額は収入欄に加算します。年金収入がある場合は年金額決定通知などを提出してください。			300万円	同・別
	母				300万円	同・別
	姉				20万円	同・別
					万円	同・別
					万円	同・別
	万円				同・別	
生計同一者の合計収入					万円	
その他収入	養育費	有・無				万円/年額
	児童扶養手当、児童手当	有・無				26万円/年額
	生活保護手当	有・無				万円/年額

※1年金収入には、老齢・遺族・障害年金の他、企業年金、退職年金、労災年金等を合算の上記入してください。

住居の状況(いずれかにマル)	保護者・親族の所有	賃貸	その他( )
----------------	-----------	----	--------

(2) 【世帯の生活の状況】 (該当にマル、金額については年額を記入)

学費・生活費支出の源泉	上記収入で賄っている	上記収入に加え補填あり(預金取崩・借入等)
学費・生活費補填ある場合 その金額(万円/年額)	<p>&lt;学費・生活費を預金取崩や借入金、援助(仕送り)等で賄っている場合は、その金額を記入&gt;</p> <p>該当項目に</p> <p>チェック</p> <p>の上、金額と 内容記載 →</p> <p><input type="checkbox"/>借入 万円【内容: ]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>預金取崩 25万円</p> <p><input type="checkbox"/>親族・知人等からの援助 万円【支援者続柄: ]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一時的な収入※2 500万円【内容: 亡父の退職一時金 ]</p> <p><input type="checkbox"/>その他 万円【内容: ]</p>	

※2.一時的な収入とは、失業手当、傷病手当、退職一時金、相続・贈与金等を記入してください。

退職一時金は一時的な収入に含めます。  
生計同一者からの相続財産は収入に含めません。

(3) 【収入状況補足事項】

①収入の状況、各種申請の状況等:

(昨年の収入状況)

- ① 父親の給与収入 300万円
- ② 母親の給与収入 200万円
- ③ 遺族年金 100万円(10月より)
- ④ 父親の退職一時金 500万円
- ⑤ 児童手当 12万円
- ⑥ 児童扶養手当 14万円(10月より)

(今年の収入状況・見込み)

- ①なし
- ②300万円
- ③250万円(1月~12月)
- ④なし
- ⑤なし
- ⑥児童扶養手当 55万円(1月~12月)

②その状況が開始した時期および解消予定時期:

昨年8月に会社員の父親が亡くなり、10月から遺族年金と児童扶養手当の給付を受けている。

③手当・年金等の申請状況:

遺族年金と児童扶養手当を申請済。

④手当年金等が支給されない場合の理由: